

第16回 データビジネス創造コンテストを開催 — Digital Innovators Grand Prix 16 (DIG16) —

『1/365人の住民』の獲得施策』をテーマに、 消滅可能性都市に観光客を呼び込むアイデアを募集

慶應義塾大学 SFC 研究所データビジネス創造・ラボ（代表：村井 純）は、株式会社一休（代表取締役社長：榎 淳）のサポートのもと、「第16回 データビジネス創造コンテスト —Digital Innovators Grand Prix 16（略称：DIG 16）—」を開催いたします。

1. 趣旨

本コンテストでは、『1/365人の住民』の獲得施策』をテーマに、旅行サイトの予約データや口コミデータを分析して、少子高齢化と若者の都市圏への流出により20～39歳の女性の数が半分以上減少する消滅可能性都市に「1年のうち1泊（1/365）の住民」として観光客を呼び込むアイデアや施策を募集します。

データ活用がもたらすビジネス機会がますます増える中、テクノロジーやデータを活用できる人材が不足しているために、解決されていない課題がたくさんあります。本コンテストでは、幅広い年代の学生たちに、データ分析を通じて社会課題への理解を深め、解決策を提案する機会を提供します。その結果、データを活用できる人材の育成を目指します。

2. 実施概要

■テーマ（目的）

『1/365人の住民』の獲得施策』

■評価の観点

提供データ活用	ビジネスパートナーが保有しているデータを提案の中で活用できるか
独自データ収集	提供データ以外にもデータを集めているか
データ解析	データをきちんと解析できているか
実現・継続性	継続的に実現可能なモデル・コストの負担などが考えられているか
新規性	新しい提案ができているか

■スケジュール

申し込み開始	2022年11月25日（金）
エントリー締切	2023年2月1日（水）
本選出場チーム発表	2023年2月20日（月）
本選発表会・審査会・表彰式	2023年3月11日（土）三田キャンパスにてハイブリッド方式で開催

■応募資格

日本の高等学校、高等専門学校、大学、大学院の正規課程に所属する生徒・学生

■審査員長

村井 純 慶應義塾大学教授

■主催

慶應義塾大学 SFC 研究所 データビジネス創造・ラボ

■ビジネスパートナー

株式会社一休

■後援

総務省統計局、独立行政法人 統計センター、大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 統計数理研究所、一般社団法人 日本統計学会、応用統計学会、公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会、一般社団法人情報処理学会 情報処理教育委員会、一般財団法人 日本情報経済社会推進協会、一般社団法人 データサイエンティスト協会

■協力

アクセンチュア株式会社、株式会社ブレインパッド、NTT コム オンライン・マーケティング・ソリューション株式会社、株式会社デジタルガレージ、株式会社電通デジタル



応募方法は、公式サイトをご覧ください。

第 16 回データビジネス創造コンテスト公式サイト <https://dmc-lab.sfc.keio.ac.jp/dig16/>

【慶應義塾大学 SFC 研究所 データビジネス創造・ラボについて】

データビジネス創造・ラボは、慶應義塾大学 SFC 研究所*内に設置された、IT、統計、ビジネスデザインの融合方法を研究するグループです。データサイエンティスト育成カリキュラムの構築、ならびに先進的なビッグデータの集計・解析手法等の共同研究を行うとともに、2014 年からは、産官学協働のもとデータ分析によって導き出されるアイデアを競い合う「データビジネス創造コンテスト」を開催しています。

※慶應義塾大学 SFC 研究所 <https://www.kri.sfc.keio.ac.jp/>

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス（SFC）に設置された慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科、大学院健康マネジメント研究科、総合政策学部、環境情報学部、看護医療学部の附属研究所

*本プレスリリースに掲載されている会社名・商品名は、それぞれ権利者の商標または登録商標です。

*本選の観覧、取材等をご希望の方は、下記問合せ先にご連絡をお願いいたします。

【本コンテストに関する問合せ】

慶應義塾大学 SFC 研究所 データビジネス創造・ラボ事務局 E-mail : dig-info@sfc.keio.ac.jp

【配信元】

慶應義塾大学 湘南藤沢事務室 学術研究支援担当

E-mail : kri-pr@sfc.keio.ac.jp